

# ようこそ 図書館へ

第5号

2008年11月  
津市図書館

**おもな内容** シリーズ図書館活用法(6)  
シリーズ図書館の仕事(4)  
レファレンス事例集  
知ろう私たちの郷土



藤堂高虎公の本や  
新聞の切抜き記事も  
いっぱいそろっているでござるヨ。



# 図書館行事

## “あんなの こんなの”

津市図書館では、図書館と市民の皆さんとをつなぐ大切な役割として様々な行事を行っています。今年度開催行事を参考にご紹介しましょう。

### ※ おはなし会もいろいろ

…子どもたちはおはなしが大好き…

絵本や紙芝居の読み聞かせ、パネルシアター、語りの世界を楽しむストーリーテリング等を行っています。

乳幼児向けのおはなし会では、手遊びやわらべうたも楽しみながらおはなしを。小学生にたっぷりおはなしをきいてもらうためにスペシャルなおはなし会。テーマにあわせた本の紹介をするブックトークの日。

また、洋書のおはなし会もあつたりとおはなし会も各図書館でさまざまな工夫をしています。

子どもだけでなく大人の方もたっぷりおはなしを楽しんでください。

### ♡ 講座もいろいろ

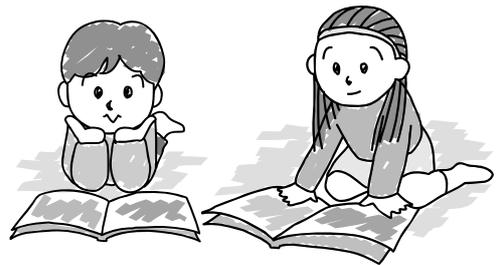
#### ● ボランティア養成講座

ボランティアとして読み聞かせやストーリーテリングを地域の子どもたちにしてあげたいけれど、上手に出来る方法はないかしら。おはなしの選び方やおはなし会の持ち方などちょっとした心得を学んでいただく講座です。

#### ● 絵本講座

どんな本を読んであげたらいいかしら、子どもが喜ぶ本はどんなかしらなど、家庭での読み聞かせの参考にしていただく講座です。

また、絵本は子どもだけでなく大人にとっても楽しいもの、絵本について学ぶ講座もあります。子どもの本だけでなく、大人の文学作品についても、鑑賞方法や楽しみ方を学ぶ講座もあります。



### ♡一緒に作りましょう

…世界に一つだけの本を作りませんか…

親子で絵本作りを学んで、自分だけの宝物絵本を作りましょう。絵本の世界を楽しみながら、お料理をしたり工作をしたりと楽しい体験をするものもあります。

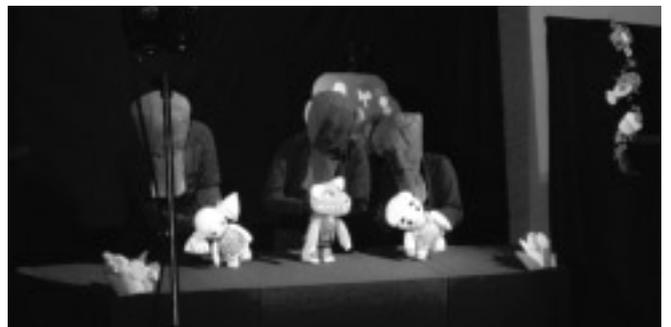
折り紙教室やクリスマスリース作りではどんな作品が出来るのか楽しみです。本が汚れないように表紙にブックコートをする方法も学んでいただけます。

### ◇◇ 講演会～あの人～

地域の方や有名な作家を招いて、創作活動や作品について語ってもらう講演会、創作の際の苦労話や作品にかける思いなど、新しい発見が出来ます。また絵本の原画展も同時開催することもあり、本物に魅了されます。

### ☆ 他にもこんな催しが～

落語の世界はいかがでしょう。子どもから大人まで大いに笑って落語を楽しんでみませんか。オカリナ演奏も好評です。音色にこころ癒されます。親子で人形劇を楽しむ日や、映画を鑑賞する日、また、図書館で出されるクイズに挑戦したり、七夕には願い事をかいた短冊をつるしたり…と楽しい催し物がたくさんあります。



このほかにも様々な行事を開催しています。開催する図書館や日時、自由参加・申し込みが必要なものなど、いろいろあります。これらの情報は図書館内のほかホームページ、広報津（毎月16日号）などでご案内しております。ぜひ、ご参加ください。

# 図書館の本はみんなの本

## ～傷んだ本は修理して利用します～

はじめはきれいな本も、たくさんの方に利用されると本も傷んでいきます。そんなときは、修理をしてまたみなさんに利用していただきます。では、どんな本を修理するのかをご紹介します。

### まず修理が必要となる本とは・・・

#### 1. ページはずれ、糸のゆるみ、破れそうな本

修理専用のりや図書館用修理テープで修理します。

(セロハンテープで修理された本は、年月がたつと黄色く変色してきます。セロハンテープをきれいにはがし修理をします。)



落書き本など

#### 2. 書き込みや落書き本、(鉛筆、ボールペン等)

気になる箇所への線引きや読了したしるしや書き込みなどを見つけた場合は、消しゴムやインク消しなどを使い極力本を傷めないように消しますが、すべてのものが消せるわけではありません。

#### 3. 背表紙の傷み

書名や著者名などの文字が薄れている場合は文字を入れなおしたり、壊れている場合は補修テープ等で修理をします。

### 残念ながら修理が出来ません (もう入手できないかも・・・)

1. 雨や飲料水などで濡れた本は乾かしても元に戻りません。
2. 切り取りされた本や破れた本
3. ペット等による噛み傷
4. 油性マジック等による落書き



修理道具のいろいろ

### 本が困ることは・・・

- しおりの代わりにページの端を折る。
- 長時間の日光浴 (本が反ってしまいます)
- 料理しながら、飲食しながら読むこと
- 表紙を反対に折って読むこと など



### ご協力を・・

図書館では傷んでいる本を見つけたときは修理をしていますが、気がつかない場合があります。ご利用された本が傷んでいた場合は、そのままの状態でお声をかけていただきますようお願いいたします。

# レファレンス 事例集

こんな  
レファレンスが  
ありました

Q. アサガオの花が咲く様子を見るために開花時刻を操作する方法を知りたい。

A. 479『アサガオのすいみん時間』貝原純子著（さ・え・ら書房）によると、アサガオは夜明けとともに開花するというイメージがあるが、実は日没からほぼ一定の時間で開花している。日没が早くなる9月、10月には、夜中に開花するようになる。昼間に開花を見るためには、光を当てて人工的に開花を遅らせる。また、気温が高すぎると開花しないという記述もあった。具体的な時間の実験結果表などもあり、わかりやすい内容になっていた。



Q. 「こざとへん」と「おおざと」の成り立ちについて知りたい。

A. 813.2『講談社新大辞典』（講談社）より。こざとへんは阜（フ・おか）から。石のない土山の形をかたどる。その断面をあらわしたものが。こざとへんの字はたいてい土または岡に関係がある。おおざとは邑（ユウ・オウ）から。会意。□と巴の合字。国のこと。人の集まり住む土地、むら、みやこ、さと等の義である。

Q. 「もっこす」という言葉について知りたい。熊本で使われているが、由来を知りたい。

A. 813.1『広辞苑』（岩波書店）によると、熊本の方言で「意地っぱり」の意味。「肥後もっこす」として使われる。818.0『方言俗語語源辞典』山中襄太著（校倉書房）によると熊本で「一徹者」の意味。361.4『出身県でわかる人の性格』岩中祥史著（草思社）にもあった。210.5『日本列島「土風」探訪』津本陽著（PHP研究所）には「肥後もっこす」というサムライ気風、いつどのように生まれたかが記載されている。914.6『司馬遼太郎全講演 第2巻』司馬遼太郎著（朝日新聞社）にも「細川家と肥後もっこす」について記載あり。背景にある土地柄については210.5『人づくり風土記 43』加藤秀俊ほか編纂（農村漁村文化協会）、藩主細川家に関しては289.1『細川家の叢智』加藤耕三著（日本経済新聞社）、913.6『名君肥後の銀台細川重賢』童門冬二著（実業之日本社）も参考に紹介した。

Q. アイロンのてかりの取り方を知りたい。

A. 「てかり」とは生地繊維が圧力で潰れてしまったり繊維の表面が擦り切れたりする時にできるもので、593.5『洗濯&アイロン上手になれる本』（徳間書店）に記載があり紹介した。最も簡単な方法はアイロンを浮かせてスチームをたっぷりかけ自然に生地本来の弾力性を取り戻し、硬めの歯ブラシでほんの少し生地表面を毛羽立てるようにする。それでも直らない時はアンモニア水とスチームアイロンの組み合わせが効果的である。



## 図書館員のひとりごと

### 人気あります！大活字本

細かな文字を読むのは、ちょっと苦手と読書をあきらめてしまう方も多いのではないのでしょうか。そういう方必見！大活字本というのはご存知ですか。大活字本とは、内容をそのままに活字を大きくした本です。

芸濃図書館ではベストセラーと

なった『五体不満足』をはじめ小説を中心に所蔵しています。また『もだんミステリーワールド全集』15巻（内田康夫集など）『くらしっく時代小説全集』15巻（山本周五郎集など）『文学賞受賞名作集成』10巻もあります。ほかには、『暮らし上手なマナーコツのコツ全集』5巻『道具の使い方コツのコツ全集』5巻など大きな図でわかりや

すい実用書もあります。

芸濃図書館では、さまざまなジャンルの大活字本を取り揃えていますので、中学生から、ご年配の方まで楽しんでいただけたらと思います。ご家族そろって読書をするきっかけに大活字本を活用されてはいかがでしょうか。

# 知ろう私たちの郷土

## 江戸時代の菊栽培書 中川 豊

私たちにとって菊は最も身近な植物の一つといていいでしょう。菊は大別すると栽培種と野生種に分けられます。栽培種はイエギクといわれ、中国の唐の時代に交配によって生み出されたものと考えられています。それが古代、あるいは奈良時代に日本へ渡来しました。

ところで日本ではいつ頃から菊は観賞の対象となったのでしょうか。津の国学者谷川土清(1709-1776)は、自作の辞書『和訓栞』で次のように述べています。

菊をもてあそびしは後世の事、其初め延暦十六年(797)に御製ありて嵯峨太上天皇重陽ノ菊花ノ賦、経国集に載す。寛平の御時菊合せ給ひしより名高くなりしといへり。

(句読点・ルビ・西暦は著者が記す)

奈良時代の漢詩集『懷風藻』には「対峰傾菊酒」(境部王)や、「傾斯浮菊酒」(安倍広庭)という句が見られますが、『万葉集』には菊は一首も詠まれていません。奈良時代では、まだあまり愛でるべき対象として見られていなかったようです。平安時代になって勅撰漢詩文集である『経国集』に採られています。土清さんが言及しているように注目されるようになったのは寛平年間(889-897)の宮中での菊合からのようです。以後、貴族の邸宅でも菊合が催されていますし、『古今和歌集』以下の勅撰和歌集にも盛んに菊が詠まれるようになり、宮廷を中心とした上流階級に浸透していったと思われます。

では庶民が菊を翫ぶようになったのはいつ頃からでしょうか。それは江戸時代中期(1704-1789)といていいでしょう。そして正徳・享保期(1711-1736)には菊作りの大ブームがおこります。その火付け役となったのが『菊譜百詠図』と推測されます。この園芸書は中国の明の時代に成立した後に日本へ伝えられて、寛永十六年(1639)に和刻本(日本で再製作された版本)として刊行されています。我が国で初めて出版された菊の図譜・栽培手引き書です。邦人により著されて最初に刊行された園芸書は延宝

九年(1681)の『花壇綱目』で、種類ごとに適切な用土や肥料、株分けの時期を記し、さらに、牡丹、菊、躑躅などの異名を列挙しています。以後、品種改良が盛んになり、菊に関する書物や記述は急速に数を増していきます。また京都・江戸のみならず地方への影響も見逃せません。例えば元禄期(1688-1703)には伊勢の三仲斎蘭窓なる人物が『百菊図巻』という図譜を著しています。序文は射和の俳人大淀三千風です。また正徳五年(1715)には美濃加治田で酒造業を営んだ平井冬音(1694-1737)が『扇の伝』を刊行しています。美濃加治田は現在の岐阜県南部の富加町で、『扇の伝』は加治田の人々が地元の清水寺へ持ち寄った菊の品評が記されています。さらに菊にちなむ漢詩・和歌・俳諧も収録されており、当地における文芸の隆盛をよく示しています。

以後『草木育種』(文化15年刊)『草木育種後編』(天保8年序刊)『菊花檀養種』(弘化3年序刊)の

ような出版物に、菊栽培の需要が広く求められている点が窺えます。明治になると、木版多色刷りの特大豪華本『契花百菊』(写真)が刊行され、その色や形状の詳細な点まで、窺うことができます。

平安時代に見出された菊の美は、現代もなお人々の心をとらえ続けています。



契花百菊

### 参考文献

小笠原亮『プロが教える園芸秘伝 江戸の園芸・平成のガーデニング』(小学館、1999.4)

青木宏一郎『江戸のガーデニング』(平凡社、1999.4)

小笠原左衛門尉亮軒『大江戸カルチャーブックス 江戸の花競べ 園芸文化の到来』(青幻舎、2008.4)

\*本文中『花壇綱目』『草木育種』『草木育種後編』『菊花檀養種』『契花百菊』は津図書館の特別コレクション橋本文庫に所蔵されています。



# 休館日・開館時間などのご案内

下記の休館日のほかに特別整理期間（年1回、14日以内）や、臨時に休館することがあります。詳しくは、各館の図書館カレンダーや図書館たいむず、津市図書館ホームページなどをご覧ください。

館名	開館時間	休館日
<b>津図書館</b> 西丸之内23-1 津リージョンプラザ内 TEL 229-3321	平日 9:00～19:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日 祝・休日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>久居ふるさと文学館</b> 久居東鷹跡町2-3 TEL 254-0011	平日 9:00～18:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日（祝・休日にあたるときは、その翌日） 祝・休日 毎月最終木曜日（祝・休日にあたるときは、その翌日） 12月28日～1月4日
<b>ポルタひさいふれあい図書室</b> 久居新町3006ポルタひさいふれあいセンター内 TEL 254-0464	平日 10:00～21:00 土・日曜日、祝・休日 10:00～18:00	12月29日～1月3日
<b>河芸図書館</b> 河芸町浜田782 TEL 245-5300	10:00～18:00	火曜日（祝・休日にあたるときは、その翌日） 祝・休日（土・日曜日にあたるときを除く） 毎月最終木曜日（祝・休日にあたるときは、その翌日） 12月28日～1月4日
<b>芸濃図書館</b> 芸濃町椋本6824 津市芸濃総合文化センター内 TEL 265-6004	9:00～17:00	火曜日（祝・休日にあたるときは、その翌日） 毎月最終木曜日（祝・休日にあたるときを除く） 12月28日～1月4日
<b>美里図書館</b> 美里町三郷51-3 津市美里文化センター内 TEL 279-8122	9:00～17:00	火曜日 祝・休日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>安濃図書館</b> 安濃町東観音寺418 津市サンヒルズ安濃内 TEL 268-5822	10:00～18:00	火曜日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>きらめき図書館</b> 香良洲町2167 津市サンデルタ香良洲内 TEL 292-4191	9:00～17:00 （7・8月の平日は 18:00まで）	火曜日 祝・休日（土・日曜日にあたるときを除く） 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>一志図書館</b> 一志町井関1792 津市とことめの里一志内 TEL 295-0116	10:00～18:00 （7・8月の平日は 19:00まで）	火曜日（祝・休日にあたるときは、その翌日） 祝・休日 毎月最終木曜日（祝・休日にあたるときは、その翌日） 12月28日～1月4日
<b>うぐいす図書館</b> 白山町二本木1139-2 津市白山総合文化センター内 TEL 262-5000	平日 10:00～19:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日（祝・休日にあたるときは、その翌日） 祝・休日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>美杉図書室</b> 美杉町八知5828-1 津市美杉総合開発センター内 TEL 272-8092	9:00～16:30	土・日曜日 祝・休日 12月28日～1月4日

※上の表中「祝・休日」とは、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいいます。

本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 第5号

発行日/平成20年11月1日 編集及び発行/津市教育委員会 津市津図書館  
三重県津市西丸之内23番1号 津リージョンプラザ内 TEL (059) 229-3321